

花高同窓会報

発行 秋田県立花輪高等学校同窓会
編集 花輪高等学校同窓会会報部
印刷 川嶋印刷株式会社



同窓会長
杉江宗祐
未来への
飛躍

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうござ
います。

今年は例年にならない豪雪でしたが、それだ
けに春への期待も大きく、未来へと飛び立
つ皆さんにとりましては、キラキラと朝日
に輝く雪にも明日への思いを懸ける今日こ
の頃ではないかとお察し致します。

昨秋には、校舎の改築も終わり、木の香
り漂う新校舎で、授業を受けられるとい
う環境にも恵まれました。

卒業後は上級学校へ進学される人、社会
人として新しい人生のスタートをされる
人、人それぞれに歩まれる道程は異なつて
も、二年間、明堂長根で学ばれた知識と友と
培われた友情の輪は、今後の人生にとつて
大きな礎となるものと存じます。

今日における日本の社会は、IT革命に
代表されるように大きな変化の時を迎えて
おります。

「今まではこうであった」「こうでなけ
ればならない」といった既成概念は通用し
ない場面も多々あると思えますので、己の
信ずる道(志)をひた向きに進んでほしい
ものであります。

IT時代に育った若者は、自分の殻にと
じこもりがちとよく言われますが、社会は
人が支えあい、協力しあつて営まれるもの
です。

新しい出会いに遭遇することにより感動
を覚え、共鳴することで、更に、皆さんは
人間として成長するものと確信します。ど
うか自己の能力を信じ、大きく飛躍して下
さい。



今年度をふりかえつて
——八十周年記念式典式辞より——
校長 小笠原 友 行

まほろばの国鹿角にも豊かな稔りの秋
が訪れた今日のよき日に、校舎改築竣工
並びに創立八十周年記念式典を挙げてま
すことは、誠に意義深いことであり、
教職員、在校生一同、この上ない喜びで
あり光栄に存ずる次第であります。

御多忙中のところ、ご臨席賜りました
県知事様、県教育委員会教育長様をはじめ
とすご来賓各位、校舎改築工事関係
者、同窓生、PTAの方々に対しまして、
心から厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、本校は地域の皆様の永
年にわたる願望が実り、大きな期待を担
つて、大正十五年に町立花輪実科高等女
学校として、花輪小学校内に併置されま
した。昭和三年に県立に移管され、翌昭
和四年から建築を始めた校舎が新田町、
現在のあるとらあ地の昭和五年に完成
しました。木造二階建てピンク色の校舎
で玄関の上にはバルコニーがあり、当時
としては大変モダンな校舎であったと聞
いております。

昭和二十三年、学制改革によって男女
共学の花輪高等学校となり、定時制課程
も併設されるようになりました。高校進
学率の向上にもない昭和四十二年に、
現在の校地である明堂長根の高台に新校
舎移転新築工事が始まり、昭和四十五年
に落成を祝っております。

世紀のかわり目を迎え、二十一世紀に、
より一層存在感を示すことの出来る学校
を目指して、校舎改築の機運が高まり、
関係者のご尽力のおかげで、平成十三年
から改築事業にとりかかり、本日、新校
舎の竣工記念式典の日を迎えることが出

来しました。本校として三代目になる新校
舎は、広い中庭を取り囲むように校舎を
配置し、体育館には一六〇mの周回走路
を設けるなど、お互いの心が通い合い、
大変機能的な設計になっていきます。また
教室棟は木造にし、腰板には地場の杉板
を使用するなど、木のぬくもりがあり、
パリアフリーで学校開放にも対応でき
る、自然にやさしく人に優しい、素晴ら
しい校舎となりました。校舎改築のみな
らず、その時々々に本校に寄せられました
県当局をはじめ、鹿角市、近隣町村、地
域の皆様の特段のご配慮、ご支援があつ
て、はじめて今日の花輪高校があるとの
思いを強く感じ、改めて深く謝意を表す
次第であります。また、地元や全国各地
で常に母校の動向に注目し、温かな声援
をお寄せ下さる同窓生の皆様、歴代のP
T A、部活動後援会の皆様、そして、こ
のように各方面から大きな期待を寄せら
れる学校にまで育ててくださった歴代の
校長先生はじめ教職員に対し、衷心より
敬意を表します。

さて在校生の皆さん、このような多く
の人たちによって支えられ、多くの人た
ちの様々な思いの詰まっていた八十年に
わたる本校の歴史を、誇りと自信を持っ
て、しっかりと受けとめてください。皆
さん一人一人が、今その歴史をつくって
いるのだと認識し、よき伝統と校風に新
たな息吹を与え、それを次の世代に引き
継ぐ使命があるのだと自覚してください
い。本校は草創以来、「鹿角の文化は花
輪高女から」の想いを胸に、高等女学校
校歌「愛の花輪」の中で「恒のころ」

「高き恒」と謳われている、「つつまじや
かさ」と「美しい心」を何よりも大切に
して来ました。男女共学後は「質実剛健」
「雄々しさ」も伝統として受け継いでま
いました。「八十年、生徒はかわれど
変わらぬ想い、新たな校舎で夢を育む」
のテーマにもあるように、本校を巣立っ
ていった一万六千五百余名の卒業生の、
その時々々の想いを大切にしながらも、そ
れぞれの夢の実現に努め、文と武の両面
を追求すべく、「世界にとよませむ」「世
界をみちびかむ」「世界をはぐくまむ」
の気概を持ちながら、新校舎に新たな花
輪高校の歴史を刻んでいくってください。

本校発祥の地である新田町には、昭和
五年、生徒の手で校門の脇に植えられた
二本の「しだれ桂」のみが残り、八十年
の年輪を刻み、優雅な姿で今なお青々と
葉を茂らせております。ここ明堂長根の
地には二代目となる「しだれ桂」の木が
植えられ、環太平洋音楽祭でグランプリ
を獲得した吹奏楽部の演奏を聞き、都大
路での全国高校駅伝大会に五回の出場を
誇り、浅利純子選手を輩出した陸上競技
部や全国高校総体や国体、世界ジュニア
選手権等で数々の優勝を成し遂げたスキ
ー部などの部活動に熱心に取り組む、花
高生の日々の学校生活を見守ってきまし
た。新校舎の完成を待って、一本の「し
だれ桂」の木を、三代目として校舎の側
に移し替えました。これからはこの「し
だれ桂」の木が皆さんの登下校や日々の
活動を見守りながら、皆さんと共に成長
していくことでしょう。

私も教職員も、花輪高校がしっかりと
と地域に根を張り、枝を広げ、葉を繁ら
し発展していけるように、豊かな人間性
を育む特色ある学校教育の創造に、これ
まで以上の努力をもって取り組む決意を
新たにするものであります。今後とも関
係の皆様の一層のご理解とご協力をお願
い申し上げます。

平成16年度同窓会決算書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

●収入の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
1.会費	2,071,731	2,048,680	△23,051	
(1)会費	1,400,000	1,369,960	△30,040	同窓生会費
(2)入会金	671,731	678,720	6,989	2,834人*120円+ 1,411人*240円
2.繰越金	397,801	397,801	0	
3.雑収入	468	1,925	1,457	利息
合計	2,470,000	2,448,406	△21,594	

●支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
1.会議費	50,000	11,267	△38,733	同窓会総会
2.会務費	890,000	723,835	△166,165	
(1)旅費	280,000	258,800	△21,200	宮城支部総会
(2)消耗品費	30,000	7,255	△22,745	写真代他
(3)通信費	530,000	436,900	△93,100	同窓会報送料他
(4)払込手数料	50,000	20,880	△29,120	郵便振替手数料
3.事業費	690,000	610,850	△79,150	
(1)印刷費	500,000	511,301	11,301	会報・趣旨書・他
(2)記念品費	120,000	95,674	△24,326	卒業生へ記念品
(3)広告費	50,000	3,875	△46,125	応援広告
(4)行事費	20,000	0	△20,000	
4.渉外費	120,000	48,000	△72,000	
(1)負担費	10,000	0	△10,000	
(2)渉外費	80,000	48,000	△32,000	支部総会等出席
(3)慶弔費	30,000	0	△30,000	
5.助成費	350,000	370,000	20,000	部活動後援会、 部激励金
6.備品費	13,000	12,600	△400	卒業アルバム
7.積立金	300,000	300,000	0	定期預金
8.雑費	7,000	0	△7,000	
9.予備費	50,000	30,000	△20,000	80周年記念事業 予算割当て
合計	2,470,000	2,106,552	△363,448	

収入総額	2,448,406	支出総額	2,106,552	差引残高	341,854
------	-----------	------	-----------	------	---------

定期預金合計	5,420,326
--------	-----------

平成17年度同窓会予算書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

●収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
1.会費	2,073,142	2,071,731	1,411	
(1)会費	1,400,000	1,400,000	0	同窓生会費
(2)入会金	673,142	671,731	1,411	477*120円*12ヶ月 *0.98
2.繰越金	341,854	397,801	△55,947	
3.雑収入	504	468	36	
合計	2,415,500	2,470,000	△54,500	

●支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
1.会議費	40,000	50,000	△10,000	総会
2.会務費	800,000	890,000	△90,000	
(1)旅費	230,000	280,000	△50,000	支部総会
(2)消耗品費	20,000	30,000	△10,000	のし袋・ タックシール他
(3)通信費	520,000	530,000	△10,000	切手・送料
(4)払込手数料	30,000	50,000	△20,000	郵便振替手数料
3.事業費	660,000	690,000	△30,000	
(1)印刷費	520,000	500,000	20,000	同窓会報他印刷代
(2)記念品費	100,000	120,000	△20,000	卒業生へ記念品
(3)広告費	30,000	50,000	△20,000	年賀他
(4)行事費	10,000	20,000	△10,000	同窓会入会式
4.渉外費	100,000	120,000	△20,000	
(1)負担費	10,000	10,000	0	在京同窓会連合会費
(2)渉外費	60,000	80,000	△20,000	祝賀会等
(3)慶弔費	30,000	30,000	0	祝電・弔電他
5.助成費	450,000	350,000	100,000	部活動後援会・ 激励金
(1)部活動助成費	350,000	300,000	50,000	
(2)支部助成費	100,000	50,000	50,000	支部活動費
6.備品費	13,000	13,000	0	卒業アルバム
7.積立金	300,000	300,000	0	定期預金
8.雑費	7,000	7,000	0	
9.予備費	45,500	50,000	△4,500	
合計	2,415,500	2,470,000	△54,500	



畠山 陽輔 (写真右)

(H10度卒、大館市在住)
花輪高校卒業後、早稲田大学に学ぶ。現在秋田ゼロックスに勤務。飛躍が得意。高校時代は真面目で周囲にも気を配ることができ、後輩思いであった。周囲から絶大な信頼を受けていた。

小林 範仁 (写真左)

(H12度卒、札幌市在住)
花輪高校卒業後、日本大学に学ぶ。現在東京美装興業に勤務。走力は抜群。明るく陽気な性格で友人も多かった。競技へは前向きに取り組み負けん気も強かった。1年生から頭角を現した。

競技終了後、コースの途中でクールダウンしている両選手と違い、健闘を讃える。両選手とも、力を出し切った爽やかな表情で、笑顔で応対してくれた。「調子は決して悪くはないので、この後の団体戦やスプリントに期待して欲しい。」と、明るく語ってくれたのが好印象として残っている。(2006・2・11現地にて)

復合前半飛躍の競技が始まる。初出場の畠山が試技でトップのいきなりK点越えのアーチを描く。オリンピック二度目の小林はいまичの調子のようにあるが、落ちていた明るい表情で応援に込めている。畠山が10位、小林が23位、畠山に逆に入賞のチャンスありと緊張感が災いしたのか、後半の距離では板の滑りも悪く、身体のきれも重い。結果、ずるずる後退して32位。小林は後半の距離が得意、自信とは恐ろしいものだ。一周毎に順位を上げ、結果七人抜きで16位、出場50名中立派な成績である。



二人がかつて所属していた
鹿角ジャンプ少年団副団長

トリノ観戦記

渋谷 久夫 先生

イタリア北部の都市トリノは、フランス文化の影響を受けた十七世紀にはサヴォイア公国の首都ともなり、華麗なバロック芸術が花を咲かせた、その時代の荘厳な建造物が残る。そのトリノより北西約一五〇キロメートル、車で二時間半、フランスとの国境近いヨーロッパアルプスの標高五〇〇メートル級の山々に囲まれた山岳観光のメッカ、ブラジエラートという山村にノルディック会場がある。快晴の紺碧の空、気温マイナス一五℃、彼らが夢にまで見た世界のひのき舞台が、雄大なバックスクリーンの中に設けられている。各国の応援団の旗が乱舞し、歓声と鳴物でいやがうえにもオリンピックムードが高まる。

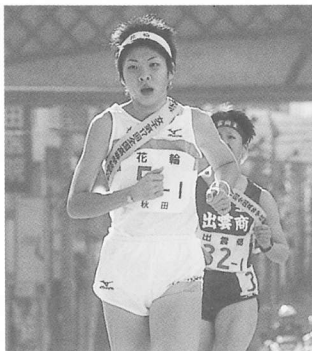
全国高校駅伝大会を終えて

陸上競技部 監督 中嶋 豊

10月に行われた女子第17回全国高等学校駅伝競走大会秋田県予選において、5年ぶり4回目の優勝を成し遂げ、念願であった都大路への出場を果たすことができました。県予選終了後は県高校記録の更新(1時間12分48秒)という大きな目標を掲げ、2回の合宿と試走を経て、上り調子でレースに臨みました。

大会当日は数日前に降った雪もほとんど消え、絶好のコンディションでスタート。初めの大舞台、また、1・2年生中心の若いチームではありますが、雰囲気にもまれることなく1区から粘り強い走りをし、1時間13分48秒の43位でゴールしました。目標の県高校記録には1分及ばず、43位という順位ではありますが、県勢では6年振りの1時間13分台。1人1人が1本の襷に心を込め、持ち前のチームワークを生かし、持てる力を全て出した結果です。全国のレベルには遠く及ばなかったものの、個々の選手が全国のレベルで感じ、今後に繋がる大会であったと感じております。この大きな経験を糧に日々の練習に励み、県予選の連覇と全国大会での更なる飛躍を目指して頑張りたいと思います。

大会を迎えるにあたり、全国各地の同窓生の方々より、温かいご声援とご支援を頂き感謝の気持ちでいっぱいであり、誠にありがとうございます。ごさいました。



結果一覧

区間	氏名(学年)	区間タイム(区間順位)
第1区(6km)	田中 友麻(1)	20分59秒(39位)
第2区(4.0975km)	橋本 美加(3)	14分08秒(36位)
第3区(3km)	小館 彩佳(1)	10分49秒(43位)
第4区(3km)	木村 香織(2)	10分20秒(35位)
第5区(5km)	相川 幸乃(1)	17分32秒(37位)
	総合成績	43位-1時間13分48秒

寄付のお礼

昨年末の寄付のお願いに際し、たくさんのご協力をいただきました。誠にありがとうございます。一月末現在、同窓生の方々で郵便振込を下された金額は、一〇〇万円を超す額となっております。この他に、地域のご家庭や職場の皆様からお骨折りいただき、たくさんのお志をいただいております。今後も有意義に使わせていただきます。ありがとうございました。

新会員名簿

A組 担任 大森 敬一先生

丸山 紀子 (花輪第二)
 藤原 千晶 (十和田)
 橋本 美加 (花輪第二)
 西村 優作 (花輪第一)
 中村 和也 (十和田)
 豊田 裕也 (花輪第二)
 兔澤 大輔 (花輪第二)
 綱木 克成 (八幡平)
 田村 勝洋 (花輪第一)
 田中 智樹 (花輪第一)
 田中 貴充 (花輪第一)
 高橋 仁美 (花輪第一)
 高杉 晋矢 (尾去沢)
 杉原 基康 (小坂)
 杉澤 香悠 (花輪第一)
 櫻田 悠一 (八幡平)
 黒澤 恵一 (花輪第一)
 栗山 純一 (花輪第一)
 栗山 敏一 (八幡平)
 工藤 香乃 (田山)
 切田 早香子 (花輪第一)
 木村 麻美 (花輪第二)
 小田 光太郎 (花輪第一)
 太田 智将 (十和田)
 安保 晴香 (花輪第二)
 安保 貴洋 (八幡平)
 安倍 聡子 (八幡平)
 阿部 友美子 (尾去沢)
 阿部 宏樹 (八幡平)
 阿部 健太郎 (八幡平)
 阿部 和智 (八幡平)
 浅水 拓磨 (花輪第二)
 浅石 美貴 (花輪第一)

B組 担任 佐藤 睦子先生

津江 未来 (八幡平)
 千葉 綾典 (小坂)
 田中 愛美 (花輪第二)
 田口 沙織 (花輪第二)
 高田 陽平 (八幡平)
 関原 玲香 (花輪第二)
 菅原 理沙 (花輪第二)
 澤口 美季 (小坂)
 佐藤 知恵美 (花輪第二)
 佐藤 琢哉 (花輪第一)
 佐藤 翔平 (花輪第一)
 佐藤 潤一 (花輪第二)
 佐々木 秀太 (尾去沢)
 見玉 瑞希 (花輪第二)
 見玉 愛美 (尾去沢)
 見玉 男次 (花輪第二)
 見玉 さおり (花輪第二)
 栗山 舞子 (花輪第一)
 工藤 走斗 (花輪第二)
 工藤 杏那 (花輪第一)
 神田 脩丞 (八幡平)
 大森 文好 (十和田)
 大越 茜 (十和田)
 一戸 満里奈 (花輪第一)
 石木 龍佑 (花輪第一)
 石井 亜希恵 (花輪第二)
 阿部 祐一朗 (八幡平)
 阿部 伸哉 (八幡平)
 浅石 祥吾 (八幡平)
 青澤 義明 (八幡平)
 青澤 志桜里 (花輪第一)
 和田 祐来子 (十和田)
 依田 真 (十和田)
 山本 琴乃 (尾去沢)
 山本 主多 (花輪第一)
 山本 和央 (花輪第二)

C組 担任 吉田 英亮先生

佐藤 孝文 (成章)
 佐藤 枝莉子 (十和田)
 櫻田 安佳里 (八幡平)
 齊藤 孝平 (八幡平)
 齊藤 綾香 (花輪第二)
 兒玉 裕也 (花輪第二)
 兒玉 恵里 (花輪第二)
 黒沢 菜月 (十和田)
 工藤 雄太 (十和田)
 木村 寛子 (花輪第一)
 神田 基世 (尾去沢)
 亀田 瞬 (小坂)
 金澤 佑哉 (花輪第一)
 加藤 早紀 (花輪第一)
 柏木 彩 (尾去沢)
 海沼 莉佳子 (花輪第一)
 小笠原 好江 (十和田)
 泉澤 亜希子 (花輪第一)
 安保 夕貴 (十和田)
 安保 聡美 (花輪第二)
 阿部 紗希 (花輪第一)
 阿部 恵子 (八幡平)
 阿部 惇史 (八幡平)
 阿部 朗人 (花輪第一)
 相川 真美 (花輪第二)
 米村 講歩 (花輪第二)
 山本 紗織 (花輪第二)
 三ヶ田 大和 (八幡平)
 間藤 涉 (花輪第一)
 藤原 孝成 (八幡平)
 福田 浩士 (小坂)
 倍賞 一輝 (花輪第二)
 西村 真菜 (花輪第一)
 奈良 樹 (尾去沢)
 長岐 脩平 (花輪第二)
 兔澤 真侑子 (花輪第二)

D組 担任 伊藤 栄治先生

小館 裕豪 (尾去沢)
 黒沢 裕樹 (十和田)
 忍 明美 (花輪第一)
 大畑 健 (八幡平)
 大信田 哲 (花輪第二)
 大里 恭平 (十和田)
 遠藤 豪 (花輪第二)
 上野 聡 (小坂)
 稲垣 裕子 (八幡平)
 石川 由佳子 (花輪第二)
 石井 信次 (花輪第二)
 安保 祐作 (花輪第一)
 安保 敏浩 (花輪第一)
 阿部 悠希 (花輪第一)
 阿部 舞子 (八幡平)
 阿部 ちひろ (八幡平)
 阿部 琴美 (八幡平)
 阿部 湖十恵 (八幡平)
 赤坂 有美 (十和田)
 湯沢 友裕 (十和田)
 渡部 沙弥香 (尾去沢)
 湯沢 修太郎 (十和田)
 湯沢 昭比古 (八幡平)
 晴野 哲弥 (花輪第一)
 橋野 昭比古 (八幡平)
 奈良 和也 (花輪第一)
 千葉 大輔 (成章)
 田中 惠美 (花輪第一)
 田中 志尚 (花輪第二)
 田中 似望 (花輪第二)
 高橋 里美 (八幡平)
 関 健吾 (花輪第一)
 杉澤 美紅 (花輪第一)
 下川原 由希子 (十和田)
 沢田 泰樹 (花輪第二)
 佐藤 由香 (比内)
 高見 知恵 (尾去沢)
 瀨川 彩加 (十和田)
 鈴木 孝宏 (花輪第一)
 佐藤 弘理 (田山)
 佐藤 清丸 (花輪第二)
 齊藤 雄太 (花輪第二)

第五十八期 学年幹事
 (平成十七年度 卒業)

A組	浅水 拓磨
B組	橋本 美加
C組	青澤 義明
D組	高見 知恵

阿部 ちひろ



見玉 道高 (松園)
 齊藤 清丸 (花輪第二)
 佐藤 雄太 (花輪第二)
 佐藤 由香 (比内)
 沢田 泰樹 (花輪第二)
 下川原 由希子 (十和田)
 杉澤 美紅 (花輪第一)
 関 健吾 (花輪第一)
 高橋 里美 (八幡平)
 田中 似望 (花輪第二)
 田中 志尚 (花輪第二)
 田中 惠美 (花輪第一)
 千葉 大輔 (成章)
 奈良 和也 (花輪第一)
 橋野 哲弥 (花輪第一)
 晴野 昭比古 (八幡平)
 松井 奉直 (花輪第一)
 村木 茂隆 (花輪第一)
 村木 梨紗 (花輪第一)
 柳館 政利 (花輪第一)
 湯沢 託守 (十和田)

(計一六三名)



※同窓会名簿の見直し・調整を予定しております。今後御協力をお願いします。